

令和2年度

北島中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ① 自分の考えや思いを自分の言葉で表現する力を伸ばす指導の充実
- ② 学校と家庭との連携による学習習慣の確立

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	教務	近藤勝重
桑原紀子		第1学年主任	橋本光江
稲富しのぶ		第2学年主任	小川清晴
貞野剛範		第3学年主任	平野よしみ

校長

片倉 繁樹



◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○全般的に落ち着いた態度で、基礎的な問題や課題に意欲的に取り組むことができる。 ●新しい課題については興味関心を持ち意欲的に取り組むことができるが、繰り返し確認していく学習で、根気強さや意欲が不十分になっていく傾向がある。	基礎的・基本的な事項について、繰り返し粘り強く取り組み、学習に対する興味・関心・意欲を身につけている。	①朝学習のセミナー、自主学習などの提出物をチェックし、継続的に取り組むように指導する。 ②基礎的・基本的な内容の小テストを実施し、合格点に達しなかった者には補充学習を実施する。 ③授業はじめの目標(めあて/ねらい)を板書等により生徒に提示する。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習方法がわかっていたり、指示された内容がはっきりしていたりすることに対しては、意欲的に取り組むことができる。 ●答えがわかっても、自分の考えや思いを表現することが苦手な生徒が多い。自主的に表現していけるよう工夫が必要である。	自分の考えや思いを目的や条件に応じてわかりやすく相手に伝えることができる。課題解決のために資料や情報を効果的に活用することができる。	授業の中で考えさせる場面や自分の考えや思いを表現させる場面をあらゆる機会を捉えて設け、言語活動の充実を図る。教科部会を中心に、研究授業や相互授業参観を行い、生徒が主体的に取り組む授業展開を推進する。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題については、ほとんどの生徒が真面目に根気強く取り組み、提出することができる。 ●家庭学習が十分に定着していない傾向がある。学習の内容に大きな差があり、何をしようのかかわからない生徒も少なくない。	目標をもち、それを達成するための計画を立て、家庭学習に意欲的に取り組むことができる。	①各教科で課題を出し、家庭学習の充実を図る。 ②生徒自らが作成した学習計画のもとテスト勉強に地道に取り組むことを習慣づける。 ③進路を見据えた学習指導を行う。			

令和2年度 学力向上ロードマップ

